

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2025年7月18日まで（2010年9月30日設定）	
運用方針	日本国債20年型マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の国債を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。運用にあたっては、残存期間20年程度までの国債を各年限ごとに分散して組み入れます。運用の効率化を図るため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。	
主要運用対象	ベビーファンド	日本国債20年型マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の国債に直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 三菱UFJ 日本国債ファンド （毎月決算型）



第118期（決算日：2020年8月20日）  
 第119期（決算日：2020年9月23日）  
 第120期（決算日：2020年10月20日）  
 第121期（決算日：2020年11月20日）  
 第122期（決算日：2020年12月21日）  
 第123期（決算日：2021年1月20日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）」は、去る1月20日に第123期の決算を行いましたので、法令に基づいて第118期～第123期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

当作成期の運用で主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

### 投資環境

国内金利は、当作成期首から2020年12月末にかけては、国債増発による需給懸念等により、小幅に上昇する局面があったものの、概ねみあいでの推移となりました。その後、米国金利の上昇や日銀による金融緩和の点検に対する警戒感などから、上昇傾向となり、当作成期間では小幅の上昇となりました。

### 運用のポイント

イールドカーブ分析に基づく保有年限の調整、銘柄間の割高・割安分析を基にしたポートフォリオ運営を行いました。

### イールドカーブ分析に基づく保有年限の調整

国内債券市場では、日本銀行の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を背景とした、イールドカーブが形成され、年限毎に割高・割安が生じていると見ております。中短期ゾーンの金利は、日本銀行の金融政策等の影響等によりマイナス圏となっており、投資金額を抑制した運用を行いました。一方、15年～18年ゾーンについては、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。

### 銘柄間の割高・割安分析を基にしたポートフォリオ運営

国内債券市場では、需給要因等を背景に、銘柄間の割高・割安が生じる局面があると見ております。銘柄間の割高・割安分析を元に、保有銘柄の入れ替えを行いました。

### 運用環境の見通しおよび今後の運用方針

国内金利は、米国金利動向や日銀の金融政策をにらみながら、当面神経質な展開が続くと見ております。

今後もイールドカーブ分析や銘柄間の割高・割安分析、金利見通しに基づいた運用を行っていく所存です。



債券運用部  
ファンドマネージャー  
小口 正之

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			( 参 考 指 数 )		債 券 債 券 純 資 産 組 入 比 率 先 物 比 率 総 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率	
	円	円	%		%	%
94期(2018年8月20日)	10,094	15	△0.8	179.81	△0.8	96.3
95期(2018年9月20日)	10,063	15	△0.2	179.56	△0.1	99.0
96期(2018年10月22日)	10,017	15	△0.3	179.03	△0.3	92.1
97期(2018年11月20日)	10,053	15	0.5	180.03	0.6	96.5
98期(2018年12月20日)	10,117	15	0.8	181.37	0.7	95.4
99期(2019年1月21日)	10,146	15	0.4	182.14	0.4	94.4
100期(2019年2月20日)	10,186	15	0.5	183.07	0.5	95.3
101期(2019年3月20日)	10,173	15	0.0	183.16	0.0	92.7
102期(2019年4月22日)	10,160	15	0.0	183.23	0.0	93.8
103期(2019年5月20日)	10,159	15	0.1	183.52	0.2	93.6
104期(2019年6月20日)	10,291	15	1.4	185.92	1.3	98.3
105期(2019年7月22日)	10,238	15	△0.4	185.38	△0.3	96.4
106期(2019年8月20日)	10,345	15	1.2	187.39	1.1	91.4
107期(2019年9月20日)	10,281	15	△0.5	186.56	△0.4	97.3
108期(2019年10月21日)	10,199	15	△0.7	185.26	△0.7	94.0
109期(2019年11月20日)	10,167	15	△0.2	184.99	△0.1	95.8
110期(2019年12月20日)	10,055	15	△1.0	183.26	△0.9	95.2
111期(2020年1月20日)	10,048	15	0.1	183.43	0.1	96.8
112期(2020年2月20日)	10,094	15	0.6	184.55	0.6	96.8
113期(2020年3月23日)	9,964	15	△1.1	182.46	△1.1	93.7
114期(2020年4月20日)	9,972	15	0.2	182.84	0.2	94.6
115期(2020年5月20日)	9,984	15	0.3	183.35	0.3	93.7
116期(2020年6月22日)	9,949	15	△0.2	183.01	△0.2	92.7
117期(2020年7月20日)	9,927	15	△0.1	182.88	△0.1	95.2
118期(2020年8月20日)	9,897	15	△0.2	182.61	△0.1	91.9
119期(2020年9月23日)	9,913	15	0.3	183.16	0.3	93.9
120期(2020年10月20日)	9,893	15	△0.1	183.12	△0.0	94.4
121期(2020年11月20日)	9,899	15	0.2	183.56	0.2	96.9
122期(2020年12月21日)	9,883	15	△0.0	183.57	0.0	98.0
123期(2021年1月20日)	9,837	15	△0.3	183.00	△0.3	97.6

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 20年とは、野村証券株式会社が発表している期間20年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	NOMURA-BPI/Ladder 20年	騰 落 率		
第118期	(期 首) 2020年7月20日	円 9,927	% —	182.88	% —	% 95.2	% 1.1
	7月末	9,941	0.1	183.14	0.1	92.2	△1.1
	(期 末) 2020年8月20日	9,912	△0.2	182.61	△0.1	91.9	2.2
第119期	(期 首) 2020年8月20日	9,897	—	182.61	—	91.9	2.2
	8月末	9,885	△0.1	182.42	△0.1	92.0	2.2
	(期 末) 2020年9月23日	9,928	0.3	183.16	0.3	93.9	3.4
第120期	(期 首) 2020年9月23日	9,913	—	183.16	—	93.9	3.4
	9月末	9,905	△0.1	183.04	△0.1	92.9	△2.3
	(期 末) 2020年10月20日	9,908	△0.1	183.12	△0.0	94.4	—
第121期	(期 首) 2020年10月20日	9,893	—	183.12	—	94.4	—
	10月末	9,877	△0.2	182.85	△0.1	96.4	—
	(期 末) 2020年11月20日	9,914	0.2	183.56	0.2	96.9	△3.4
第122期	(期 首) 2020年11月20日	9,899	—	183.56	—	96.9	△3.4
	11月末	9,883	△0.2	183.25	△0.2	97.1	△3.4
	(期 末) 2020年12月21日	9,898	△0.0	183.57	0.0	98.0	△5.7
第123期	(期 首) 2020年12月21日	9,883	—	183.57	—	98.0	△5.7
	12月末	9,867	△0.2	183.30	△0.1	95.8	△4.6
	(期 末) 2021年1月20日	9,852	△0.3	183.00	△0.3	97.6	△2.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第118期～第123期：2020年7月21日～2021年1月20日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第118期首	9,927円
第123期末	9,837円
既払分配金	90円
騰落率	-0.0%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

### > 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

利子収益を確保したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第118期～第123期：2020年7月21日～2021年1月20日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**国内金利は小幅に上昇しました。**

国内金利は、当作成期首から2020年12月末にかけては、国債増発による需給懸念等により、小幅に上昇する局面があっ

たものの、概ねもみあいでの推移となりました。その後、米国金利の上昇や日銀による金融緩和の点検に対する警戒感などから、上昇傾向となり、当作成期間では小幅の上昇となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）

当ファンドは日本国債20年型マザーファンドを通じて、わが国の国債を実質的な主要投資対象としています。マザーファンドへの投資比率は、運用の基本方針にしたがい概ね100%を維持しました。

### ▶ 日本国債20年型マザーファンド

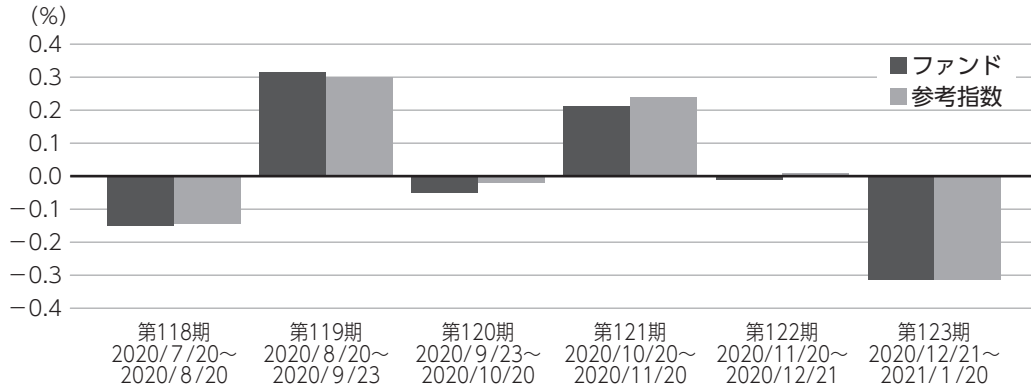
残存期間20年程度までの国債を各年限に分散して組み入れました。中短期ゾーン

の金利は、日本銀行の金融政策等の影響等によりマイナス圏となっており、投資金額を抑制した運用を行いました。一方、15年～18年ゾーンについては、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、8.9～9.9程度で調整しました。また、デュレーション調整のため、債券先物を売建てています。

第118期～第123期：2020/7/21～2021/1/20

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はNOMURA-BPI/Ladder 20年です。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第118期 2020年7月21日~ 2020年8月20日	第119期 2020年8月21日~ 2020年9月23日	第120期 2020年9月24日~ 2020年10月20日	第121期 2020年10月21日~ 2020年11月20日	第122期 2020年11月21日~ 2020年12月21日	第123期 2020年12月22日~ 2021年1月20日
当期分配金 （対基準価額比率）	15 (0.151%)	15 (0.151%)	15 (0.151%)	15 (0.151%)	15 (0.152%)	15 (0.152%)
当期の収益	5	7	5	7	6	5
当期の収益以外	9	7	10	8	9	9
翌期繰越分配対象額	912	905	895	888	879	870

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）

日本国債20年型マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

### ▶ 日本国債20年型マザーファンド

安定した利子収入確保などをめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

ファンド全体のデュレーションは、当面9.2程度とし環境変化に合わせて調整する方針です。

2020年7月21日～2021年1月20日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第118期～第123期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	12	0.122	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	( 5)	(0.055)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	( 5)	(0.055)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.011)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（先物・オプション）	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	0	0.002	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	( 0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	12	0.125	

作成期中の平均基準価額は、9,896円です。

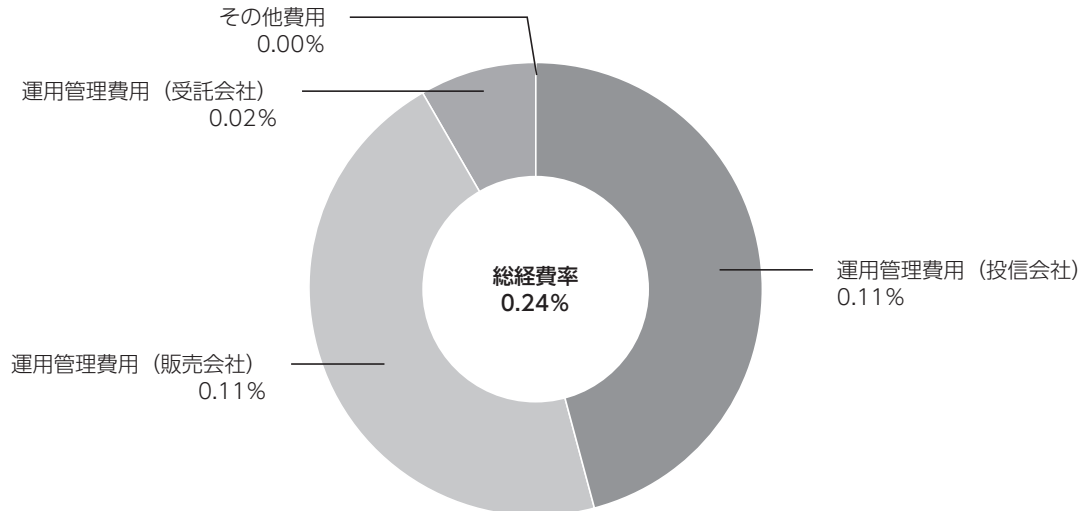
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.24%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年7月21日～2021年1月20日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第118期～第123期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
日本国債20年型マザーファンド	441,678	539,828	718,466	877,995

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年7月21日～2021年1月20日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）&gt;

該当事項はございません。

&lt;日本国債20年型マザーファンド&gt;

区 分	第118期～第123期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
公社債	百万円 4,642	百万円 1,714	36.9 %	百万円 4,520	百万円 1,494	33.1 %

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

## ○組入資産の明細

(2021年1月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第117期末	第123期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
日本国債20年型マザーファンド	11,081,763	10,804,976	13,198,278

## ○投資信託財産の構成

(2021年1月20日現在)

項 目	第123期末	
	評 価 額	比 率
日本国債20年型マザーファンド	千円 13,198,278	% 99.4
コール・ローン等、その他	85,179	0.6
投資信託財産総額	13,283,457	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第118期末	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末
	2020年8月20日現在	2020年9月23日現在	2020年10月20日現在	2020年11月20日現在	2020年12月21日現在	2021年1月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	13,593,815,038	13,520,135,612	13,405,260,847	13,480,788,858	13,358,636,963	13,283,457,590
コール・ローン等	41,399,681	40,808,404	65,593,107	41,576,008	42,030,288	59,590,562
日本国債20年型マザーファンド(評価額)	13,519,745,484	13,382,831,642	13,317,378,769	13,416,923,074	13,257,796,298	13,198,278,938
未収入金	32,669,873	96,495,566	22,288,971	22,289,776	58,810,377	25,588,090
(B) 負債	51,371,175	107,338,474	81,810,389	30,352,603	67,900,198	59,782,121
未払収益分配金	20,524,236	20,296,590	20,202,272	20,381,879	20,171,538	20,163,509
未払解約金	28,015,909	83,957,197	59,178,599	7,183,476	44,951,309	36,938,259
未払信託報酬	2,792,900	3,043,164	2,396,805	2,749,738	2,739,974	2,644,288
未払利息	54	35	39	24	23	19
その他未払費用	38,076	41,488	32,674	37,486	37,354	36,046
(C) 純資産総額(A-B)	13,542,443,863	13,412,797,138	13,323,450,458	13,450,436,255	13,290,736,765	13,223,675,469
元本	13,682,824,110	13,531,060,486	13,468,181,341	13,587,919,371	13,447,692,478	13,442,339,804
次期繰越損益金	△ 140,380,247	△ 118,263,348	△ 144,730,883	△ 137,483,116	△ 156,955,713	△ 218,664,335
(D) 受益権総口数	13,682,824,110口	13,531,060,486口	13,468,181,341口	13,587,919,371口	13,447,692,478口	13,442,339,804口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,897円	9,913円	9,893円	9,899円	9,883円	9,837円

## ○損益の状況

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2020年7月21日～ 2020年8月20日	2020年8月21日～ 2020年9月23日	2020年9月24日～ 2020年10月20日	2020年10月21日～ 2020年11月20日	2020年11月21日～ 2020年12月21日	2020年12月22日～ 2021年1月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,007	△ 1,819	△ 605	△ 807	△ 882	△ 607
受取利息	23	7	—	—	16	19
支払利息	△ 1,030	△ 1,826	△ 605	△ 807	△ 898	△ 626
(B) 有価証券売買損益	△ 17,787,138	△ 43,932,546	△ 4,235,952	△ 31,831,351	△ 2,159,402	△ 38,711,580
売買益	122,524	45,231,404	163,310	35,103,924	4,490,914	248,895
売買損	△ 17,909,662	△ 1,298,858	△ 4,399,262	△ 3,272,573	△ 2,331,512	△ 38,960,475
(C) 信託報酬等	△ 2,830,976	△ 3,084,652	△ 2,429,479	△ 2,787,224	△ 2,777,328	△ 2,680,334
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 20,619,121	△ 40,846,075	△ 6,666,036	△ 29,043,320	△ 618,808	△ 41,392,521
(E) 前期繰越損益金	△ 388,177,533	△ 409,583,174	△ 373,508,767	△ 385,001,222	△ 355,860,973	△ 359,021,147
(F) 追加信託差損益金	288,940,643	270,770,341	255,646,192	238,856,665	219,695,606	201,912,842
(配当等相当額)	( 1,260,489,411)	( 1,234,408,647)	( 1,219,283,070)	( 1,216,604,426)	( 1,193,390,393)	( 1,180,946,207)
(売買損益相当額)	(△ 971,548,768)	(△ 963,638,306)	(△ 963,636,878)	(△ 977,747,761)	(△ 973,694,787)	(△ 979,033,365)
(G) 計(D+E+F)	△ 119,856,011	△ 97,966,758	△ 124,528,611	△ 117,101,237	△ 136,784,175	△ 198,500,826
(H) 収益分配金	△ 20,524,236	△ 20,296,590	△ 20,202,272	△ 20,381,879	△ 20,171,538	△ 20,163,509
次期繰越損益金(G+H)	△ 140,380,247	△ 118,263,348	△ 144,730,883	△ 137,483,116	△ 156,955,713	△ 218,664,335
追加信託差損益金	276,626,101	261,298,599	242,178,010	227,986,329	207,592,683	189,814,736
(配当等相当額)	( 1,248,250,515)	( 1,224,973,515)	( 1,205,877,243)	( 1,205,818,335)	( 1,181,398,298)	( 1,168,926,199)
(売買損益相当額)	(△ 971,624,414)	(△ 963,674,916)	(△ 963,699,233)	(△ 977,832,006)	(△ 973,805,615)	(△ 979,111,463)
分配準備積立金	460,349	163,362	466,757	1,025,993	1,226,455	661,889
繰越損益金	△ 417,466,697	△ 379,725,309	△ 387,375,650	△ 366,495,438	△ 365,774,851	△ 409,140,960

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 13,652,499,751円  
 作成期中追加設定元本額 1,023,757,379円  
 作成期中一部解約元本額 1,233,917,326円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9837円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は218,664,335円です。

## ③ 分配金の計算過程

項 目	2020年7月21日～ 2020年8月20日	2020年8月21日～ 2020年9月23日	2020年9月24日～ 2020年10月20日	2020年10月21日～ 2020年11月20日	2020年11月21日～ 2020年12月21日	2020年12月22日～ 2021年1月20日
費用控除後の配当等収益額	7,981,398円	10,536,056円	7,040,092円	10,073,084円	8,296,048円	7,519,429円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	1,260,565,057円	1,234,445,257円	1,219,345,425円	1,216,688,671円	1,193,501,221円	1,181,024,305円
分配準備積立金額	688,645円	452,154円	160,755円	464,452円	999,022円	1,207,863円
当ファンドの分配対象収益額	1,269,235,100円	1,245,433,467円	1,226,546,272円	1,227,226,207円	1,202,796,291円	1,189,751,597円
1万口当たり収益分配対象額	927円	920円	910円	903円	894円	885円
1万口当たり分配金額	15円	15円	15円	15円	15円	15円
収益分配金金額	20,524,236円	20,296,590円	20,202,272円	20,381,879円	20,171,538円	20,163,509円

## ○分配金のお知らせ

	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
1 万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 日本国債20年型マザーファンド

### 《第10期》決算日2020年7月20日

[計算期間：2019年7月23日～2020年7月20日]

「日本国債20年型マザーファンド」は、7月20日に第10期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の国債を主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。運用にあたっては、残存期間20年程度までの国債を各年限ごとに分散して組み入れます。運用の効率化を図るため、先物取引等を利用し債券の投資比率が100%を超える場合があります。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) NOMURA-BPI/Ladder 20年		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率			
	円	%		%	%	%	百万円
6期(2016年7月20日)	12,248	8.7	184.50	8.3	95.2	—	17,282
7期(2017年7月20日)	11,903	△2.8	179.14	△2.9	96.3	—	14,936
8期(2018年7月20日)	12,048	1.2	181.20	1.2	91.4	—	15,690
9期(2019年7月22日)	12,343	2.4	185.38	2.3	96.4	△1.1	13,636
10期(2020年7月20日)	12,200	△1.2	182.88	△1.4	95.4	1.1	13,519

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 20年とは、野村証券株式会社が発表している期間20年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) NOMURA-BPI/Ladder 20年		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年7月22日	円	%		%	%	%
	12,343	—	185.38	—	96.4	△1.1
7 月 末	12,374	0.3	185.79	0.2	96.3	△1.1
8 月 末	12,535	1.6	188.03	1.4	92.1	△1.1
9 月 末	12,432	0.7	186.48	0.6	96.9	1.1
10 月 末	12,367	0.2	185.45	0.0	95.6	1.1
11 月 末	12,317	△0.2	184.71	△0.4	91.0	—
12 月 末	12,264	△0.6	183.99	△0.8	96.8	—
2020年1 月 末	12,323	△0.2	184.82	△0.3	97.1	△5.4
2 月 末	12,426	0.7	186.31	0.5	96.2	△5.5
3 月 末	12,197	△1.2	182.91	△1.3	93.1	—
4 月 末	12,269	△0.6	183.93	△0.8	93.6	1.1
5 月 末	12,219	△1.0	183.23	△1.2	94.3	1.1
6 月 末	12,186	△1.3	182.71	△1.4	93.7	△3.3
(期 末) 2020年7月20日	12,200	△1.2	182.88	△1.4	95.4	1.1

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

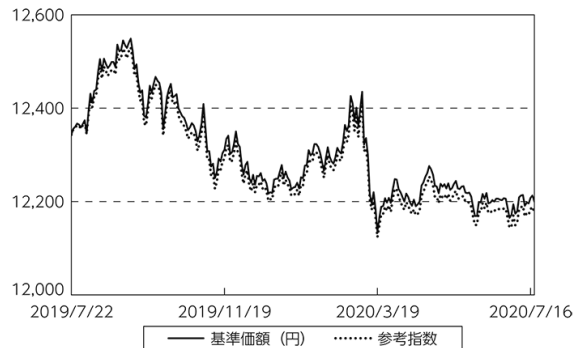
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.2%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

**● 基準価額の主な変動要因**

(下落要因)

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

**● 投資環境について****◎ 債券市況**

国内金利は上昇しました。

- ・ 国内金利は2019年9月初旬にかけて、米中通商協議に対する不透明感の強まりや、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和観測の高まりなどにより、低下傾向となりました。その後、日銀による追加緩和観測の後退や、大型補正予算に伴う国債増発による需給悪化懸念などにより、金利は上昇傾向となりました。

**● 当該投資信託のポートフォリオについて**

- ・ 残存期間20年程度までの国債を各年限に分散して組み入れました。期首から2019年8月中旬にかけては、比較的長めのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）を基本に調整しました。8月中旬以降は金利低下は行き過ぎと判断、デュレーションはやや短めを中心に調整しました。また、12月末から2020年5月末にかけては、デュレーションをやや長めを中心に調整するなど、機動的な調整を行いました。ファンド全体のデュレーションは、8.6～10.1年程度で調節しました。また、デュレーション調整のため、債券先物を買建てています。

**○ 今後の運用方針**

- ・ 安定した利子収入確保などをめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。
- ・ ファンド全体のデュレーションは、当面9.4年程度とし環境変化に合わせて調整する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年7月23日～2020年7月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、12,303円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年7月23日～2020年7月20日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 11,821,110	千円 11,775,726 ( 7,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国 内	債券先物取引	百万円 1,529	百万円 1,372	百万円 3,515	百万円 3,669

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月23日～2020年7月20日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
公社債	百万円 11,821	百万円 4,477	37.9	百万円 11,775	百万円 4,277	36.3

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年7月20日現在)

## 国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 11,768,000	千円 12,901,697	% 95.4	% —	% 73.5	% 13.7	% 8.3
合 計	11,768,000	12,901,697	95.4	—	73.5	13.7	8.3

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期			末	償還年月日
	利率	額面金額	評価額		
<b>国債証券</b>	%	千円	千円		
第397回利付国債 (2年)	0.1	50,000	50,073		2021/2/1
第409回利付国債 (2年)	0.1	250,000	251,017		2022/2/1
第412回利付国債 (2年)	0.1	280,000	281,321		2022/5/1
第414回利付国債 (2年)	0.1	200,000	200,954		2022/7/1
第125回利付国債 (5年)	0.1	60,000	60,024		2020/9/20
第128回利付国債 (5年)	0.1	30,000	30,071		2021/6/20
第135回利付国債 (5年)	0.1	10,000	10,068		2023/3/20
第136回利付国債 (5年)	0.1	80,000	80,596		2023/6/20
第137回利付国債 (5年)	0.1	70,000	70,567		2023/9/20
第140回利付国債 (5年)	0.1	530,000	535,109		2024/6/20
第313回利付国債 (10年)	1.3	40,000	40,390		2021/3/20
第319回利付国債 (10年)	1.1	70,000	71,251		2021/12/20
第330回利付国債 (10年)	0.8	10,000	10,303		2023/9/20
第334回利付国債 (10年)	0.6	10,000	10,293		2024/6/20
第336回利付国債 (10年)	0.5	20,000	20,564		2024/12/20
第338回利付国債 (10年)	0.4	130,000	133,200		2025/3/20
第339回利付国債 (10年)	0.4	640,000	656,448		2025/6/20
第340回利付国債 (10年)	0.4	10,000	10,273		2025/9/20
第347回利付国債 (10年)	0.1	20,000	20,320		2027/6/20
第348回利付国債 (10年)	0.1	170,000	172,765		2027/9/20
第351回利付国債 (10年)	0.1	230,000	233,576		2028/6/20
第352回利付国債 (10年)	0.1	50,000	50,760		2028/9/20
第353回利付国債 (10年)	0.1	50,000	50,719		2028/12/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	100,000	101,349		2029/3/20
第355回利付国債 (10年)	0.1	140,000	141,752		2029/6/20
第356回利付国債 (10年)	0.1	10,000	10,114		2029/9/20
第358回利付国債 (10年)	0.1	50,000	50,458		2030/3/20
第1回利付国債 (30年)	2.8	30,000	37,752		2029/9/20
第47回利付国債 (20年)	2.2	10,000	10,039		2020/9/21
第52回利付国債 (20年)	2.1	60,000	61,588		2021/9/21
第54回利付国債 (20年)	2.2	60,000	62,005		2021/12/20
第58回利付国債 (20年)	1.9	70,000	73,127		2022/9/20
第63回利付国債 (20年)	1.8	60,000	63,425		2023/6/20
第64回利付国債 (20年)	1.9	45,000	47,935		2023/9/20
第66回利付国債 (20年)	1.8	20,000	21,339		2023/12/20
第70回利付国債 (20年)	2.4	37,000	40,699		2024/6/20
第72回利付国債 (20年)	2.1	70,000	76,572		2024/9/20
第81回利付国債 (20年)	2.0	60,000	66,613		2025/9/20
第82回利付国債 (20年)	2.1	120,000	133,850		2025/9/20
第90回利付国債 (20年)	2.2	130,000	148,783		2026/9/20
第95回利付国債 (20年)	2.3	50,000	58,437		2027/6/20
第97回利付国債 (20年)	2.2	390,000	455,243		2027/9/20
第101回利付国債 (20年)	2.4	61,000	72,776		2028/3/20
第102回利付国債 (20年)	2.4	80,000	95,879		2028/6/20
第103回利付国債 (20年)	2.3	160,000	190,483		2028/6/20

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
第105回利付国債	(20年)	2.1	115,000	135,609	2028/9/20
第111回利付国債	(20年)	2.2	20,000	24,008	2029/6/20
第113回利付国債	(20年)	2.1	180,000	215,143	2029/9/20
第115回利付国債	(20年)	2.2	160,000	193,326	2029/12/20
第116回利付国債	(20年)	2.2	230,000	278,760	2030/3/20
第118回利付国債	(20年)	2.0	20,000	23,918	2030/6/20
第121回利付国債	(20年)	1.9	470,000	559,083	2030/9/20
第123回利付国債	(20年)	2.1	10,000	12,130	2030/12/20
第125回利付国債	(20年)	2.2	70,000	85,916	2031/3/20
第128回利付国債	(20年)	1.9	80,000	95,858	2031/6/20
第130回利付国債	(20年)	1.8	200,000	238,074	2031/9/20
第132回利付国債	(20年)	1.7	10,000	11,819	2031/12/20
第134回利付国債	(20年)	1.8	290,000	346,634	2032/3/20
第137回利付国債	(20年)	1.7	180,000	213,534	2032/6/20
第140回利付国債	(20年)	1.7	360,000	427,694	2032/9/20
第141回利付国債	(20年)	1.7	110,000	130,941	2032/12/20
第143回利付国債	(20年)	1.6	20,000	23,603	2033/3/20
第146回利付国債	(20年)	1.7	540,000	646,401	2033/9/20
第147回利付国債	(20年)	1.6	80,000	94,881	2033/12/20
第148回利付国債	(20年)	1.5	90,000	105,700	2034/3/20
第149回利付国債	(20年)	1.5	80,000	94,079	2034/6/20
第150回利付国債	(20年)	1.4	260,000	302,564	2034/9/20
第151回利付国債	(20年)	1.2	120,000	136,431	2034/12/20
第152回利付国債	(20年)	1.2	260,000	295,773	2035/3/20
第153回利付国債	(20年)	1.3	150,000	172,894	2035/6/20
第154回利付国債	(20年)	1.2	150,000	170,823	2035/9/20
第155回利付国債	(20年)	1.0	200,000	221,772	2035/12/20
第158回利付国債	(20年)	0.5	520,000	536,031	2036/9/20
第160回利付国債	(20年)	0.7	630,000	668,398	2037/3/20
第162回利付国債	(20年)	0.6	130,000	135,701	2037/9/20
第163回利付国債	(20年)	0.6	40,000	41,710	2037/12/20
第165回利付国債	(20年)	0.5	50,000	51,178	2038/6/20
第166回利付国債	(20年)	0.7	430,000	454,540	2038/9/20
第167回利付国債	(20年)	0.5	40,000	40,826	2038/12/20
第170回利付国債	(20年)	0.3	200,000	196,264	2039/9/20
第172回利付国債	(20年)	0.4	450,000	448,771	2040/3/20
合	計		11,768,000	12,901,697	

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
国内	債券先物取引	10年国債標準物	百万円 152	百万円 -

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,901,697	% 95.3
コール・ローン等、その他	638,805	4.7
投資信託財産総額	13,540,502	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,540,492,306 円
コール・ローン等	603,543,515
公社債(評価額)	12,901,697,880
未収利息	33,344,076
前払費用	986,835
差入委託証拠金	920,000
(B) 負債	21,179,916
未払金	31,100
未払解約金	21,148,111
未払利息	705
(C) 純資産総額(A-B)	13,519,312,390
元本	11,081,763,834
次期繰越損益金	2,437,548,556
(D) 受益権総口数	11,081,763,834口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,200円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 11,047,352,294円  
 期中追加設定元本額 2,004,107,440円  
 期中一部解約元本額 1,969,695,900円  
 また、1口当たり純資産額は、期末12,200円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 三菱UFJ日本国債ファンド(毎月決算型) 11,081,763,834円

## ○損益の状況 (2019年7月23日～2020年7月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	129,736,226 円
受取利息	130,029,036
支払利息	△ 292,810
(B) 有価証券売買損益	△ 280,260,240
売買益	40,995,450
売買損	△ 321,255,690
(C) 先物取引等取引損益	△ 5,332,520
取引益	10,260,240
取引損	△ 15,592,760
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 155,856,534
(E) 前期繰越損益金	2,588,677,536
(F) 追加信託差損益金	462,765,386
(G) 解約差損益金	△ 458,037,832
(H) 計(D+E+F+G)	2,437,548,556
次期繰越損益金(H)	2,437,548,556

- (注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。